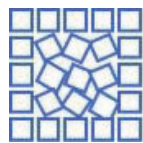


# 日本体育・スポーツ哲学会第 48 回大会シンポジウム



## ——一般公開のお知らせ——

日本体育・スポーツ哲学会では 2026 年 8 月 22 日（土）と 23 日（日）に第 48 回学会大会を日本福祉大学（東海キャンパス）にて開催します。詳細は本学会 HP（<http://www.jspspe.jp/>）をご覧ください。

第 1 日目には、『これまでの体育はいかなる〈身体経験〉を正当化してきたのか—経験概念の理論的検討と、その排除の構造—』と題したシンポジウムを実施します。本シンポジウムは日本スポーツ体育健康科学学術連合の助成を受けて開催しますので、一般公開し、どなたでも無料で参加が可能です。多数の参加を心待ちにしております。なお、参加の申し込みは下記のフォームからご登録ください。

ご質問などはフォームを用いてお問い合わせいただければ幸いです。

### 記

主 催：日本体育・スポーツ哲学会

日 時：2026 年 8 月 22 日（土）15 時 40 分～17 時 40 分

場 所：日本福祉大学 東海キャンパス（〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田 1071）

南ウイング 3 階：S 301・S 302 教室

方 法：対面 ＊社会情勢により、オンラインリアルタイム形式に変更となる場合があります

対 象：どなたでも可

登 録：<https://forms.gle/SofJGgVwf8BRU2gt9> **（すでに学会大会への参加を申し込まれた方は登録不要です）**

連絡先：日本体育・スポーツ哲学会学会シンポジウム担当（神野 周太郎）

テーマ：これまでの体育はいかなる〈身体経験〉を正当化してきたのか

—経験概念の理論的検討と、その排除の構造—（1 年目）

司 会：神野 周太郎（大阪電気通信大学）・竹村 瑞穂（東洋大学）

演題 1：体育にとって自明視されてきた身体経験の問い直し—「体育＝身体教育」という理想と幻想—

演者：高橋 徹（岡山大学）

演題 2：なぜ「声」を聴くことができないのか—不可視化される、あるいは理解不可能な身体経験について—

演者：三上 純（関西大学・日本学術振興会特別研究員 PD 大学）

演題 3：体育科教育はなぜ「そっとしておく」ことができないのか？—ヒャダインの語りを「教育問題」へ回収しないための試論—

演者：日向 悠太（大阪体育大学）

以上